

平成20年1月7日

=地域と保護者の皆様へ=

横浜市立富士見中学校  
校長 下川 秀樹

平成19年度

1月号

# 富士見中 学校だより

## 「新しい年を迎えて」

新年明けましておめでとうございます。

皆様におかれましては、明るく希望に満ちた新年をお迎えの事と思います。本年も皆様にとりましてすばらしい年となりますよう、心よりお祈り申し上げます。

さて、学校教育は、今、さまざまな形で変化する社会の要請に応じて、その新しいあり方や変革が強く求められています。市では、すでにご承知のように、これらに対応すべく横浜版学習指導要領の策定に向けて取り組みが進められています。

本校でも昨年、知・徳・体・公・開の5つのビジョンに向けて、学校教育目標を改訂し「健康」に関する新しい目標を定めました。校内の教職員研修会では、市教委から指導主事の先生にお願いし「食育」に関する研修を行い、またPTAでも小学校と共催する中で横浜国立大学の先生に食の大切さについて家庭教育学級という形で講演をお願いし、健康づくりの中の「体の健康」という部分について研修を行いました。今後この研修が周りの多くの方々に理解され、特に第二次成長期にある子ども達の成長に繋がればと願っています。といっても具体的には、各家庭における取り組みがその基盤であることは言うまでもありません。ご協力をお願いします。

健康づくりの二つ目の取り組みである「心の健康づくり」については、現在取り組んでいる人権教育のさらなる推進や学級活動、道徳、そして健康づくり推進委員会で取り組み始めた「集団生活における基本的な生活習慣の定着に向けて」の取り組み等を通して取り組みを進めてまいりたいと考えています。

また、本校では、地域の実態から多文化共生に取り組んでいますが、国際化や情報化が進む中で、自ら進んで異文化に触れることや色々な立場の人と関わり、社会性を身につけることも大切なことと考えています。大学等の諸機関との連携や地域での職業体験などは貴重な体験だと思っています。

本校では、今までも体験学習を重視して取り組んでまいりました。地域の商店街、保育体験、地域ケアプラザでの高齢者との交流体験、特別支援学校との交流等地域の方々には大変お世話になり、お陰さまで生徒達も有意義な学習に取り組むことができました。厚くお礼申し上げます。地域は、生徒達にとって大切な学習の場でもあります。これからも地域と連携して子ども達の学びと豊かな心を育めるよう努めていきたいと考えていますので、今後ともよろしくお願い致します。